

### 第51週の発生動向 (2012/12/17~2012/12/23)

1. インフルエンザについては、東地方+青森市、八戸、上十三保健所管内から報告があり、迅速診断キットによる型別では、A型11人、B型1人、不明1人です。
2. 感染性胃腸炎については、むつ保健所管内で第48週から**警報**が継続しています。県内全体の患者報告数は、前週に比べ減少しています。

## II 第51週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(85) インフルエンザ	2	0.2			10	0.7			1	0.1			13	0.2	7			2	0.2
(74) RSウイルス感染症	7	0.9	6	0.7	4	0.4	5	1.0	3	0.5	1	0.3	26	0.6	-20			7	0.9
(75) 咽頭結膜熱	2	0.3	3	0.3									5	0.1	-1			2	0.3
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19	2.4	13	1.4	28	3.1	1	0.2	15	2.5	1	0.3	77	1.9	20			19	2.4
(77) 感染性胃腸炎	149	18.6	91	10.1	16	1.8	58	11.6	48	8.0	53	13.3	415	10.1	-68			149	18.6
(78) 水痘	21	2.6	19	2.1	27	3.0	5	1.0	13	2.2	4	1.0	89	2.2	1			21	2.6
(79) 手足口病	1	0.1			7	0.8			2	0.3			10	0.2	-1			1	0.1
(80) 伝染性紅斑	1	0.1											1	0.0	1			1	0.1
(81) 突発性発疹	1	0.1	2	0.2	3	0.3	1	0.2	8	1.3			15	0.4	-1			1	0.1
(82) 百日咳					1	0.1							1	0.0	1				
(83) ヘルパンギーナ															0				
(84) 流行性耳下腺炎	16	2.0	7	0.8	1	0.1							24	0.6	4			16	2.0
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5			5	2.5			1	0.5			7	0.6	3			1	0.5
(92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎					4	4.0					13	13.0	17	2.8	-23				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

### III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 青森市3人、八戸1人 (2012年計:378人)
- (68) 梅毒(五類全数把握疾患): 弘前1人 (2012年計:8人)

### IV 病原体検出情報 ( )内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・上気道炎患者1名(鼻汁、10/1)・・・**ヒトメタニューモウイルス**: 弘前(1)
- ・下気道炎患者3名(咽頭ぬぐい液、鼻汁、10/12~10/15)・・・**ライノウイルス(HRV)**: 弘前(1)、**マイコプラズマ**: 弘前(1)、八戸(1)
- ・髄膜炎(ウイルス性)患者1名(鼻汁、10/11)・・・**HRV**: 八戸(1)

# 感染症の窓

## 感染性胃腸炎

(五類定点把握疾患)

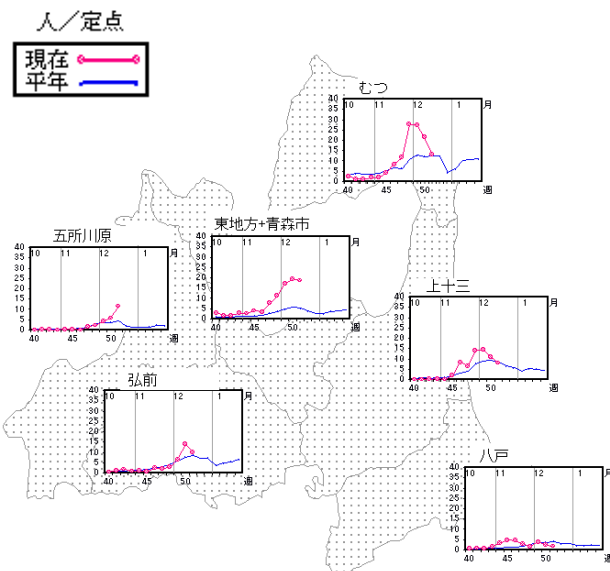


図 県内の保健所管内別報告数の推移

全国の感染性胃腸炎患者報告数は、2012年第42週から49週まで増加が続き、定点あたり患者報告数は過去10年の同時期と比較して2番目に多くなっています。県内では、むつ保健所管内で第48週から警報が継続し、東地方+青森市保健所管内では警報レベルに近い状況が続いています(図)。

感染性胃腸炎の病原体は多種多様ですが、冬季の原因は主にウイルスであり、特にノロウイルスが多くなっています。ノロウイルスによる施設内集団発生や食中毒が多発しているため注意が必要です。

予防対策は、流水・石けんによる、指先、指・爪の間、親指の周り、手首のていねいな手洗いの励行です。調理器具の消毒には、85℃以上1分間以上の加熱、また加熱できない物は200ppmの塩素液消毒が有効です。家庭用漂白剤を1リットルのペットボトルにペットボトルのキャップ1杯(約5mL)入れ、水を満たすと200~300ppm塩素液になります。

青森県のホームページでは、発生状況や対処法の詳しい情報を掲載しています。

([http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/nv\\_ige.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/nv_ige.html))

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）

（掲載内容は最新情報です単位：人 2012年第34週～第50週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
34	H24.8.20 ~ H24.8.26	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症5人		
35	H24.8.27 ~ H24.9.2	腸管出血性大腸菌感染症3人	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症3人	腸管出血性大腸菌感染症1人	
36	H24.9.3 ~ H24.9.9			腸管出血性大腸菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
37	H24.9.10 ~ H24.9.16		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			アメーバ赤痢1人
38	H24.9.17 ~ H24.9.23		風しん1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
39	H24.9.24 ~ H24.9.30			腸管出血性大腸菌感染症1人 ウイルス性肝炎1人			
40	H24.10.1 ~ H24.10.7	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人			
41	H24.10.8 ~ H24.10.14	腸管出血性大腸菌感染症21人 デング熱1人 レジオネラ症1人	梅毒1人	レジオネラ症1人 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			
42	H24.10.15 ~ H24.10.21	腸管出血性大腸菌感染症6人					
43	H24.10.22 ~ H24.10.28		梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症2人		腸管出血性大腸菌感染症1人	
44	H24.10.29 ~ H24.11.4						
45	H24.11.5 ~ H24.11.11	つつが虫病1人					クロイツフェルト・ヤコブ病1人
46	H24.11.12 ~ H24.11.18	つつが虫病1人					
47	H24.11.19 ~ H24.11.25	腸管出血性大腸菌感染症1人 梅毒1人 破傷風1人			腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人	
48	H24.11.26 ~ H24.12.2						
49	H24.12.3 ~ H24.12.9	クロイツフェルト・ヤコブ病1人	バンコマイシン耐性腸球菌1人			つつが虫病1人	腸管出血性大腸菌感染症1人
50	H24.12.10 ~ H24.12.16		梅毒1人				

VI 結核(二類全数把握疾患)

単位：人

2012年第34週～第50週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
34	H24.8.20 ~ H24.8.26	4	2	1	1	1	
35	H24.8.27 ~ H24.9.2	1	3	1		1	
36	H24.9.3 ~ H24.9.9	2	2	2	1	1	
37	H24.9.10 ~ H24.9.16	5	3	1	1	2	
38	H24.9.17 ~ H24.9.23	5		3	1		
39	H24.9.24 ~ H24.9.30	3	1			1	
40	H24.10.1 ~ H24.10.7	2	1	5		1	
41	H24.10.8 ~ H24.10.14			2	1		
42	H24.10.15 ~ H24.10.21	2	3				
43	H24.10.22 ~ H24.10.28	1					
44	H24.10.29 ~ H24.11.4	1	1	1	1	1	
45	H24.11.5 ~ H24.11.11	2	2			1	
46	H24.11.12 ~ H24.11.18	5	3	1	1		
47	H24.11.19 ~ H24.11.25	2	1	1			
48	H24.11.26 ~ H24.12.2		2	1			
49	H24.12.3 ~ H24.12.9	1	2	1		1	
50	H24.12.10 ~ H24.12.16	1					1

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）

（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

2012年12月25日 17時30分集計速報値

	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回腸熱	G熱	コクシジオイトス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ボツリヌス症	マラリア
全国	27759	3	208	3712	35	20	112	157	14	6	1	1	2	9	394	216	170	2	3	72
青森県	378	0	0	68	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	15	1	0	0	0	0

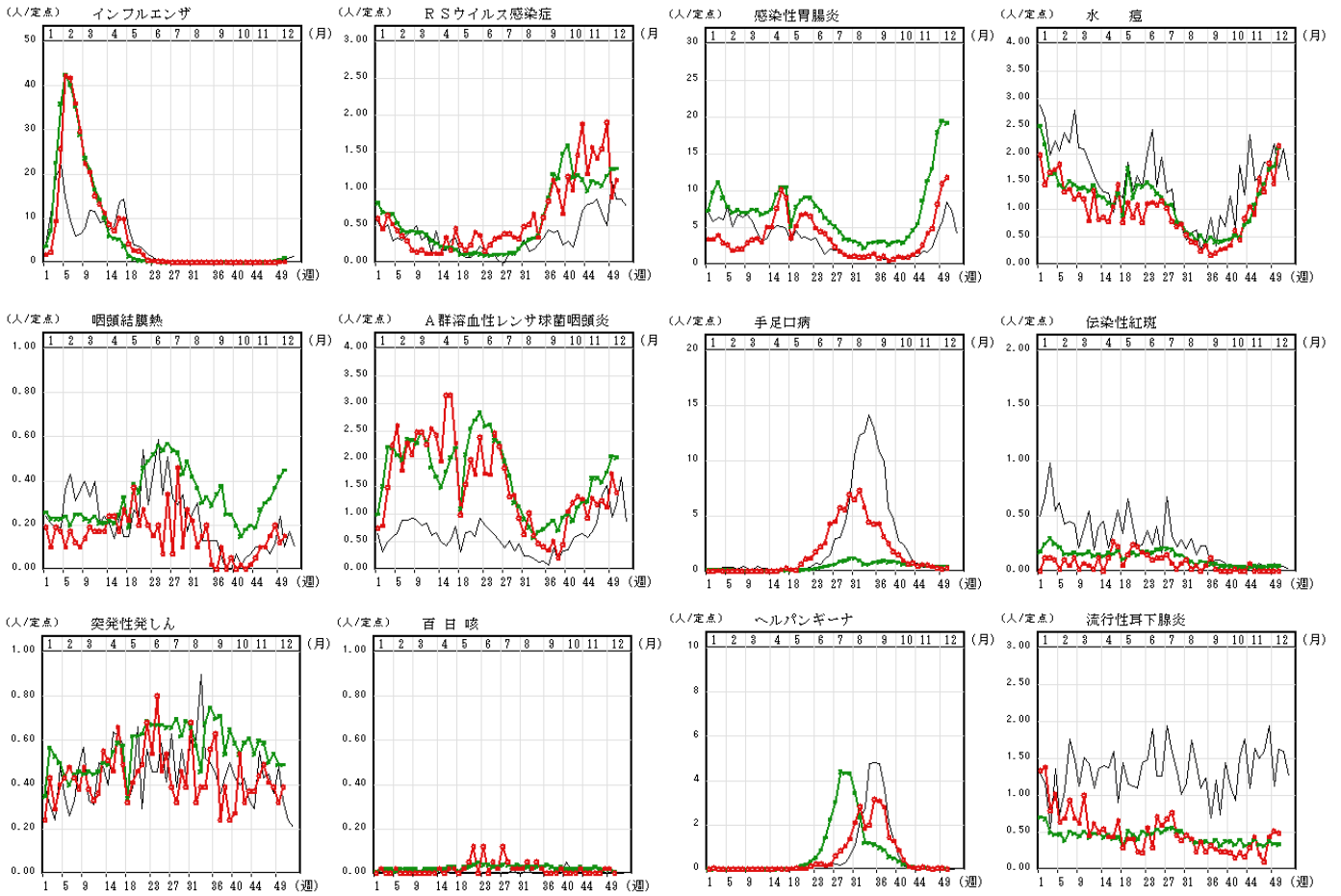
  

	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風疹症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん		
全国	11	865	30	888	219	340	6	179	239	1358	68	12	4	844	111	89	2263	289		
青森県	0	5	0	3	1	3	0	2	2	4	1	0	0	8	1	2	2	0		

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

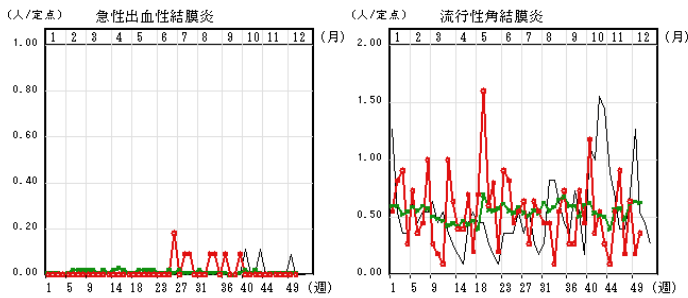
2012年第50週

グラフの説明 ○—○は2012年青森県、—は2011年青森県、×—×は2012年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移

2012年第50週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2012年第50週

